

★大肥の郷まちづくり会議とは・・・？

令和3年2月、大鶴・夜明地区のこれからのまちづくりを考える「大肥の郷まちづくり会議」が設立されました。会議では、大鶴・夜明地区の振興協議会や自治会長、集落支援員、地域おこし協力隊員などがメンバーとなり、地域の暮らしを守り、人が元気になるためのまちづくりについて、現在、話し合いを行っています。

「大肥の郷まちづくり会議通信」では、会議の内容や地域内で新しく始まる取組などを随時お知らせしていきます。

★まちづくり会議第5回委員会を開催しました

令和4年5月18日(水)に第5回委員会を開催しました。

今回は昨年度の事業報告やこれからのまちづくり会議の方向性について話し合いました。

今年度は、大鶴・夜明地区のまちづくりについて、将来の目指す姿やそれに向かってどのような取組を行っていくかをまとめた「大肥の郷まちづくり将来ビジョン」を策定していく予定です。今回の委員会では、将来ビジョンの基本理念を「笑顔ですごせるやさしいまち 大肥の郷」に決定しました。

今後は将来ビジョン(案)をたたき台として、ワーキンググループ会議を開催し、ビジョンの内容やこれからの取組について地域のみなさんと一緒に話し合いを行う予定としています。

※「大肥の郷まちづくり将来ビジョン(案)」は裏面をご覧ください。



★ワーキンググループ会議で一緒に話し合う

メンバーを募集します！

裏面の「大肥の郷まちづくり将来ビジョン(案)」について一緒に話し合いませんか？

ワーキンググループ会議は下記のように大鶴地区と夜明地区に分かれ、さらに3つのテーマごとにグループに分かれて話し合います。

地域資源を見直して、地域の魅力を再発見することや駅舎跡の利活用策、空き家や耕作放棄地のことなど、大鶴・夜明地区のまちづくりについて、いろんな意見を出しながら考えていきましょう。

大鶴・夜明地区にお住まいの方であれば、どなたでも参加可能です。

参加を希望される方は下記の連絡先までご連絡ください。1人でも多くの方のご参加をお待ちしております！

	重点プロジェクト		
	地域の資源を活かした地域振興	日田彦山線沿線の美しい景観を活かした地域振興	安心して暮らせる地域づくり
大鶴	A班	B班	C班
夜明	D班	E班	F班

◎ワーキンググループ会議日程◎

大鶴地区

日時：令和4年6月22日(水)19時～

場所：大鶴振興センター

夜明地区

日時：令和4年6月29日(水)19時～

場所：夜明振興センター

★R4 まちづくり会議のメンバーは・・・？

番号	団体名・職名等	地区等
1	大鶴振興協議会長	大鶴
2	大鶴まちづくり協議会長	大鶴
3	鶴河内町自治会長	大鶴
4	鶴城町自治会長	大鶴
5	上宮町自治会長	大鶴
6	大鶴本町自治会長	大鶴
7	大肥町自治会長	大鶴
8	大肥本町自治会長	大鶴
9	大鶴町自治会長	大鶴
10	大肥町住民	大鶴
11	静修紫雲台代表	大鶴
12	地域おこし協力隊経験者	大鶴
13	夜明上町自治会長	夜明
14	夜明中町自治会長	夜明
15	夜明振興協議会長(夜明まちづくり運営委員会、夜明関町自治会長)	夜明
16	夜明上町住民	夜明
17	夜明上町住民	夜明
18	夜明上町住民	夜明
19	夜明中町住民	夜明
20	夜明中町住民	夜明
21	夜明中町住民	夜明
22	夜明関町住民	夜明
23	夜明関町住民	夜明
24	大鶴地区集落支援員	大鶴
25	大鶴地区地域おこし協力隊員	大鶴
26	夜明地区集落支援員	夜明
27	大明タクシー有限会社	大鶴夜明
28	農事組合法人大肥郷ふるさと農業振興会	大鶴夜明
29	大分県西部振興局	
30	日田市大鶴振興センター長	事務局
31	日田市夜明振興センター長	
32	日田市まちづくり推進課長	

お知らせ

日田彦山線線路跡の工事についてお知らせです。

6月からJR九州が夜明駅～今山駅間の線路跡地のレールと枕木を撤去する工事を行います。

現場周辺では工事車両等に注意してください。

《連絡先》

大肥の郷まちづくり会議事務局(日田市まちづくり推進課) 電話：22-8356 メール：machidukuri@city.hita.lg.jp

大鶴振興センター 電話：28-2121

夜明振興センター 電話：27-2121

大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）

基本理念

笑顔で過ごせるやさしいまち 大肥の郷

重点プロジェクト

地域の資源を活かした
地域振興

- ①夜明地区の「三日月山」は、学校の遠足やハイキングなど地域の人々に親しまれてきた場所であり、展望台からは、由布岳、英彦山等の山々や大鶴夜明地区など美しい景色が楽しめる。また大鶴地区にも日田どんの墓、清溪文庫など史跡があり、それぞれにウォーキングなどで楽しめる場所がある。こういった地域の魅力ある場所を再発見し、新たな地域の魅力づくりを行う。
- ②大鶴・夜明地区は自然が美しいスポットが多くあるため、「映えスポット」を発見し、地域外にPRする。
- ③大鶴・夜明地区の恵まれた豊かな「水」を大切な資源として、活用方法を検討し、新たな魅力づくりにつなげる。
- ④大鶴・夜明地区のおいしい野菜や米といった「食」の資源を、地域の団体や野菜直売所と連携し広くPRしていく。

日田彦山線沿線の美しい景観を
活かした地域振興

- ①JR日田彦山線とともに歴史を刻んできた大鶴駅、今山駅の跡地を活用して、「人が集う拠点」を新たに整備し、地域内の交流を目指す。
- ②大鶴駅と地域の拠点の1つである「野菜工房沙羅」を連携させた活用について検討する。

安心して暮らせる
地域づくり

- ①少子高齢化の影響で、地域の人口減少が進んでいる。人口の減少を緩和するための移住施策の取組として、地域に増える空き家の活用について検討を行う。
- ②今後も増加が懸念される耕作放棄地の地域での活用方法の検討を行う。
- ③平成29年九州北部豪雨災害を後世に伝え、防災意識を喚起するきっかけとなる場やものの整備や、災害に備える拠点の整備を検討する。
- ④地域の住民が利用しやすいよう、現在運行している福祉バス、乗合デマンドタクシーのほか、今後開通するBRTも含め各交通手段の活用の仕方の検討を行う。



主な取組（これから話し合いを進めていくこと）

- ①
- ②
- ③
- ④

- ①
- ②

- ①
- ②
- ③
- ④

★「大肥の郷まちづくり将来ビジョン（案）」をたたき台として、これからワーキング会議で重点プロジェクトの内容や主な取組の部分を話し合っていきます。